

産学連携プロジェクト/危機管理教育カレッジ

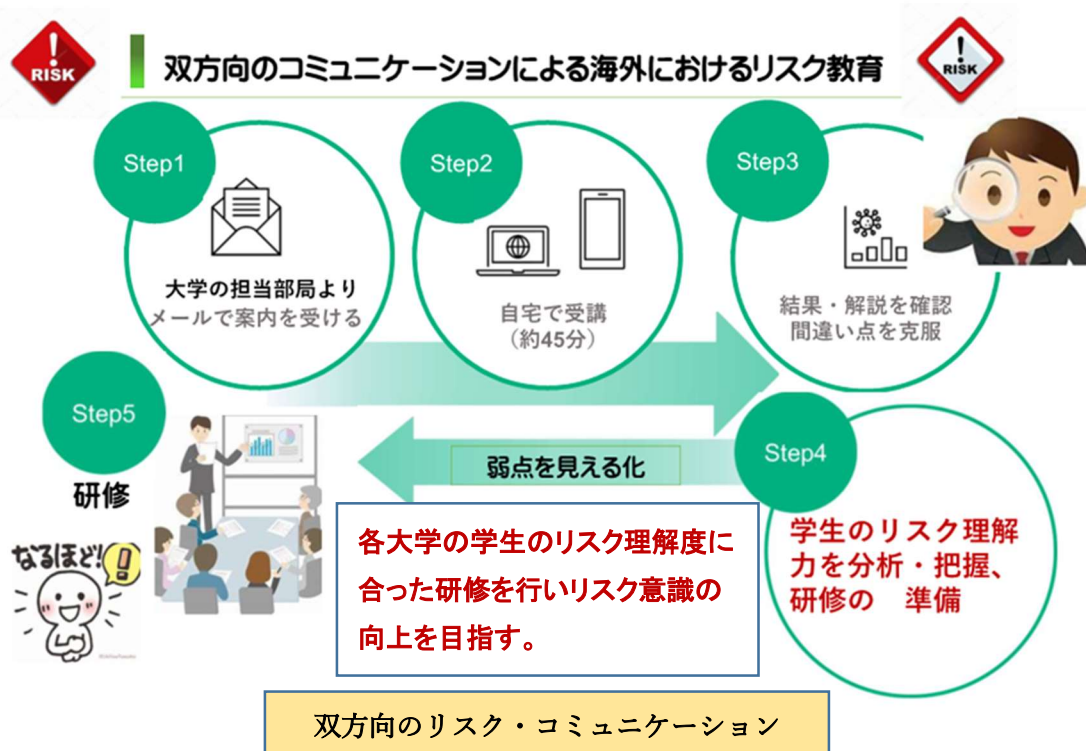
駿台グループ/SATT (株) +大阪大学/国際公共政策研究科 GRSC

* SATT (株) <https://satt.jp/> (eラーニング・システム開発、広報、販売)

* 大阪大学 GRSC <https://www.osipp.osaka-u.ac.jp/grsc/> (コンテンツ開発、研修)

After コロナの時代、国内外におけるリスク意識は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミック(世界的大流行)の発生以前に比べると大きく変わってきています。これから海外に出る留学生はもとより、海外において様々なグローバル活動に携わる学生たちは今まで以上に危機管理に関する意識を高く持つ必要があると思います。また、コロナ収束後に急速な増加が見込まれる来日する留学生や労働者も、日本における「新しい生活様式」を含む感染症や災害に対する理解を深め、日本で安心安全に生活をしていけるように、必要な情報を遅滞なく、提供してことが必要になってくると思います。この度、eラーニング(e-Learning) ICT教育分野で定評のある駿台グループのSATT(株)社との産学連携で、実施します。

*この危機管理eラーニング・プログラムの特徴として、これまでの危機管理研修が一般に受け身的なものにとどまりがちであったのに対し、受講者がeラーニング・プログラムを受講し、その結果に関するフィードバックを結果に基づいた研修を通じた形でフォローアップをすることにより、一人ひとりが理解の十分に及んでいない点までもきめ細かく見える化して理解度を深める手法を取り入れています。受講者も自分がどこまで理解して、海外で、または日本国内での有事の際の対応の心構えや方法を確認することができます。



*研修では、受講した大学、学部、または研究科の受講者の結果を分析し、弱点見える化して理解度を深めていくことを期待しています。

*危機管理 e ラーニング・シリーズ

①グローバル活動に参加する学生/危機管理 e ラーニング・プログラム

このプログラムは、長期・短期を問わず、海外の大学などの教育機関に留学する学生だけでなく、海外研修、インターンシップ、ゼミ旅行、国際ボランティア活動など海外での幅広い活動に参加する学生向けにも有用なものとなるように工夫しています。今までも学生向けの危機管理研修を行ってきた大学も、そのほとんどは正規の学生交換協定等に基づく学生派遣の場合に限られていたのが現実です。

*要望に応じて：e ラーニング後の結果分析に基づいた研修あり（オンライン/対面）

②グローバル活動を担当する教職員向け/危機管理 e ラーニング・プログラム

このプログラムは、大学などそれぞれの教育機関で海外との交流や研修、インターンシップ、ボランティアなどに参加する学生の送り出しを担当する教職員が気を付けなければならないことの学びです。派遣先の国・地域で有事の際にどのような対応をすればよいのか、基本的な危機管理のあり方を解説しています。各教育機関では、教職員のための危機管理マニュアルを作成し、研修会を行っているかもしれませんが、本プログラムは e ラーニングのかたちで教職員各位が時間のとれるときに質の高いプログラムを受講し、有事の際の対応に意識と理解を深めていただけるように構成されています。

*要望に応じて：e ラーニング後の結果分析に基づいた研修あり（オンライン/対面）

③来日留学生向け/危機管理 e ラーニング・プログラム

このプログラムは、日本の大学、日本語学校などの教育機関で学ぶ海外からの留学生向けに日本で生活する上で必要な危機管理に関する e ラーニング・プログラムです。After コロナの時代、日本においては以前からの日本特有の生活環境や社会・文化システムに加え、「新しい生活様式」も取り込まれていきます。また、将来、さまざまな自然災害や他の感染症などが発生した際にも自立した対応ができるように危機管理情報を可能な限り多言語で提供できるような体制づくりも準備していく予定です。最近、日本国内では防災関係の情報の多言語化が一定程度増えていますが、情報を持つそれぞれの機関のウェブサイトで公開しているのみのことが多く、必ずしもそうした情報を必要とする海外からの方々に届いているとは限りません。このプログラムで提供する危機管理情報は現在、日本語と英語の二カ国で提供しますが、2022 年度中により多くの言語で提供できるようにしてまいります。

④外国人労働者向け/危機管理 e ラーニング・プログラム

これは、技能実習生、特定技能外国人、EPA（看護師、介護士）など日本で労働する外国人向けの危機管理 e ラーニング・プログラムです。外国人留学生同様、日本国内における多言語情報が十分に届いていないと感じています。このプログラムは、2022 年度中に開発して多言語で提供できるように準備したいと考えています。

【現在開発中の危機管理 e ラーニング・プログラムの内容】

①グローバル活動(留学・研修など)に参加する学生向け(日英)

- A：海外に出るための基礎知識
- B：旅行前に準備しておくこと
- C：テロに対する心構えに関する質問
- D：トラブルの事例と対策
- E：禁制品や制限品目に関する質問
- F：宗教や習慣に関する質問
- G：麻薬に関する質問
- H：交通に関する質問
- I：海外で災害に見舞われた時の質問
- J：健康に関する質問
- K：未知なる感染症に関する質問(新型コロナウイルス、新型インフルエンザなど)
- L：コロナ後の新しい生活様式について

②海外に留学生を派遣する教職員向け(日英)

- A：教職員が準備する安全対策(渡航前・渡航後)
- B：学内の危機管理セミナーの実施について
- C：留学(研修)の実施/中止の判断
- D：学生の渡航後の安全対策
- E：危機管理(危機災害発生時)
- F：緊急対策チームおよび危機対策本部の役割
- G：海外研修・引率教員の注意事項
- H：海外滞在中の注意事項について
- I：コロナ禍以降の感染症対策
- J：新型コロナウイルスでの新しい生活様式に関して

危機管理 e ラーニングの評価基準

判定	評価	
A	95-100	個人留学や海外における研修、ボランティアなど国際的なプログラムに参加できる危機管理能力が十分にあります。解説をしっかりと確認し、特に誤答した箇所をチェックしてください。海外経験の豊富な方は慣れと過信に気をつけてください。
	90-94	留学や海外プログラムに参加する基礎的な理解と危機管理能力がありますが、解説をしっかりと確認し、特に誤答した箇所をチェックしてください。海外経験の豊富な方は慣れと過信に気をつけてください。

B	85-89	留学や海外研修など海外プログラムに参加するための基本的な危機管理に関する理解はありますが、まだ有事の際の判断能力に欠けている部分がありますので、慎重な行動を心がける必要があります。解説をしっかりと確認し、特に誤答した箇所をチェックしてください。
	80-84	留学や海外研修に参加するための基本的な危機管理に関する理解はありますが、まだ不十分なポイントがあり、個人で参加するにはまだ準備不足ですので、解説をしっかりと確認し、特に誤答した箇所をチェックしてください。
C	70-79	個人留学や海外研修、国際ボランティア活動に参加するためにはまだ準備不足です。解説をすべて確認し、再度eラーニングの受講をお勧めします。
D	69以下	集団で海外研修や海外旅行には参加できますが、個人で海外に出る場合は十分に気を付けてください。誤答した箇所を確認し解説をしっかりと読んでください。解説確認後、再度eラーニングを受講してください。

③外国人留学生（外国人労働者）向け危機管理eラーニング・プログラム

(158問：所要時間 約45分)

言語：日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、フィリピン語、韓国語、ミャンマー語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、など）予定

目次

A：生活の中のリスクについて（44問）

A-1：道路交通法について

A-2：事故、火事、救急について

A-3：アルコールと喫煙について

A-4：ごみの分別について

A-5：情報セキュリティについて

A-6：国民健康保険について ○留+○技

A-7：マイナンバーカードについて、

A-8：○留留学生とアルバイト/○技技能実習生の労働条件

A-9：ストレス・メンタルヘルスについて

A-10：人間関係：地域社会とのコミュニケーション

B：人権・ハラスメントについて（12問）

B-1：人権問題について、B-2：ハラスメントについて

C：困ったときの情報収集（13問）

C-1：訪日外国人消費者ホットラインとは、C-2：災害時の情報収集方法

C-3：病気になった時の情報（医療機関の探し方）

D：災害時の対応(33問)

D-1：地震について、D-2：台風について、D-3：大雨（ゲリラ豪雨）について、雪の対策

D-4：雷について、D-5:火山噴火について、D-6 :ボランティア活動

E：病気・一般的な感染症について（27問）

E-1：インフルエンザ、E-2：結核、E-3：デング熱、E-4：HIV/AIDS、E-5：食中毒、食物アレルギー、E-6：花粉症、E-7：熱中症、

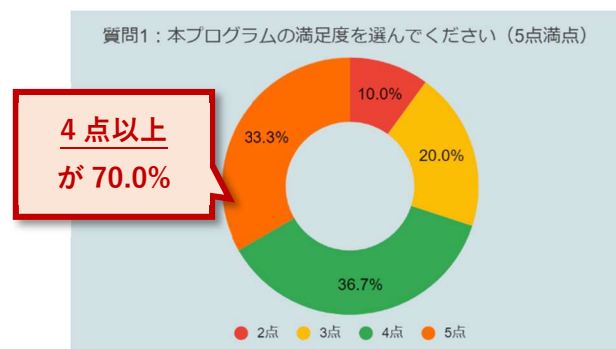
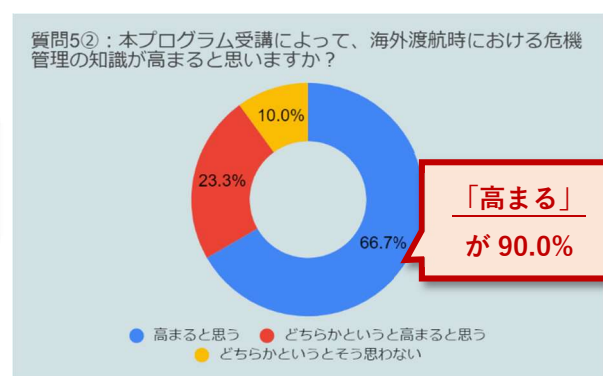
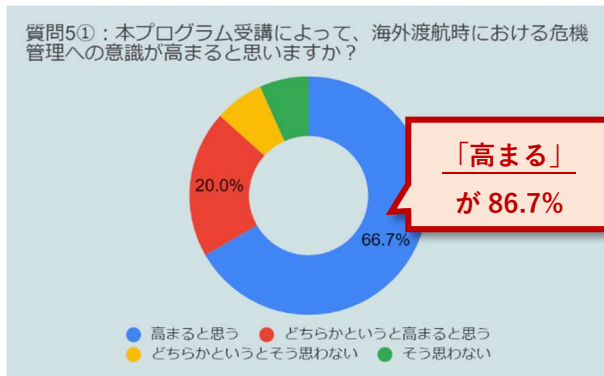
F：新型インフルエンザ、新型コロナ対策（28問）

F-1：未知なる感染症・コロナウイルス、F-2：新しい生活様式について

外国人留学生向け評価基準

判定	評価	
A	90-100	日本での生活におけるリスクのポイントは理解されています。間違えた点を再確認して、安心安全な日本での生活をお過ごしください。
B	80-89	基本的なリスクに関する基準はクリアしていますが、解説をしっかりと読んで、今回間違えたポイントや見逃している点を克服して、安心安全な日本での生活をお過ごしください。
C	70-79	基本的なリスクについての理解はできていますが、まだ確信が持てない部分がたくさんありそうです。解説をしっかりと読み、有事の際の対応を考えておいてください。
D	69以下	リスクに対してまだ対応することは難しく、不安な部分がありそうです。解説をよく読んでできれば、しばらくしてから再受講してください。

アンケート結果



受講者の声（試用版：2021年）

テロや大規模な災害などは日常的に意識する機会が少なく、設問を通して状況を想定して知識を得るのに役立った。知識についてはテロ・災害時の対応は勿論、インド・ネパールの習慣やユダヤ教の習慣で気を付けることなどポイントを押さえて新たな知識を得ることができた。自然災害への危機管理に関しては、具体的な知識や参考となるサイトなども挙げられていて、有用だと思う。

（大学生）

テストで確認することで、心構えを確認することができ、またリスクを軽減するための最低限の知識を今の最新の情報も含めて知ることができる。ただ講義を聞くよりは、テストをして解説をするほうが頭に入ってきやすいと思う。（大学生）

これまでの研修で得た内容が大半だったため、再確認しながら楽しき受講できました。新型コロナが発生し、新たな課題にも対応しているので、情報がまとめられていたので参考になりました。

（大学4年生）

今まで「たびレジ」について、何度も説明してきましたが、このeラーニングの学生の結果を見て、あまりわかっていないのがわかってショックを受けています。（留学担当職員）

開発担当者：大阪大学大学院国際公共政策研究科/グローバルリスクソリューションズセンター（GRSC）

招へい教授：塚本俊也 tsukamoto@osipp.osaka-u.ac.jp